

四日市市防災教育センター（四日市市消防本部北消防署）見学

HP : <https://yokkaichisyoubou.jp/organization/08-2/>

R8/7/11

平芝自治区 井上

訪問日：令和8年7月9日（木）13:30～15:00

訪問先：四日市市 北消防署 防災教育センター

〒510-8014 四日市市富田二丁目4-15

TEL : 059-365-3119 FAX : 059-364-6095

Mail : bousaikyouiku@city.yokkaichi.mie.jp

訪問者：平芝自主防災会 服部、井上

1. 四日市市防災教育センターについて

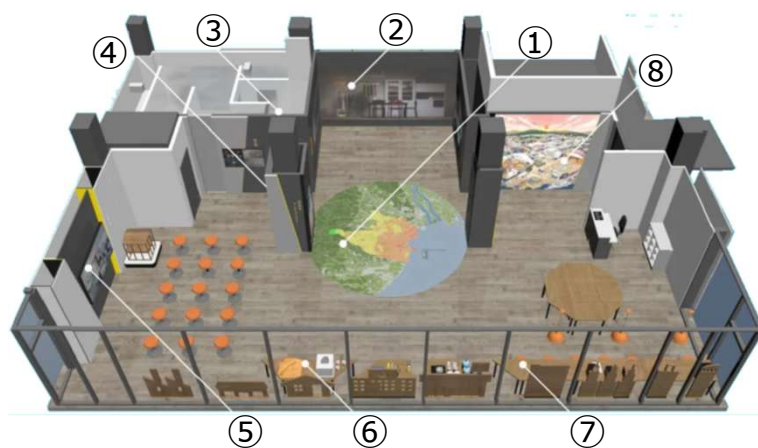
防災教育センターは、四日市市消防本部が防災に関する知識の普及および市民の防災意識の高揚を図るために、1997年（平成9年）4月に開設

防災センターは大規模災害発生時には地域の災害応急活動拠点にもなる

防災展示室は展示内容を全面的に見直し、2024年（R6年）5月12日（日）にリニューアルオープン

2. 防災教育センター施設概要

<防災教育センターレイアウト>



- ①四日市市マッピングシアター
- ②災害連鎖シアター
- ③煙体験
- ④四日市災害の歴史
- ⑤地震VR・防災シアター
- ⑥防災備蓄品
- ⑦防災学習スペース
- ⑧災害後の世界

①四日市市マッピングシアター

・床地図に「震度予測分布図」「津波浸水予測図」「河川浸水想定図」「土砂災害情報」などのハザード情報を投影



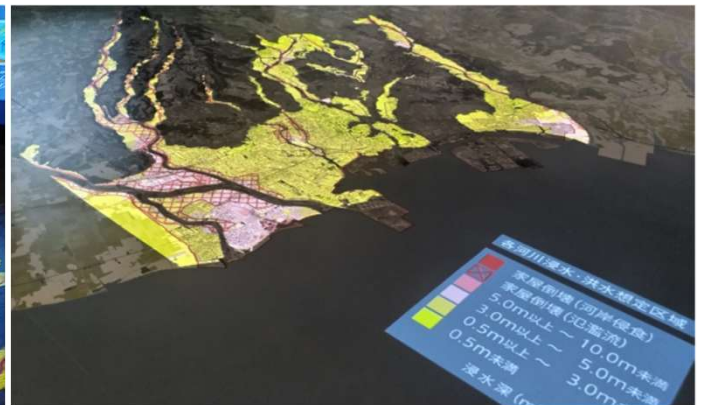
津波被害



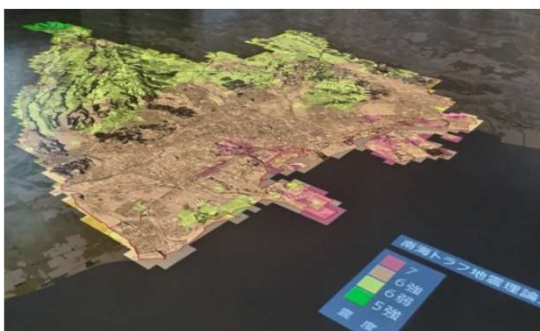
内水氾濫



河川氾濫



河川浸水



南海トラフ地震予想震度（理論上最大）



<参考> 四日市付近の活断層

・モニター上の動画とフロア上の四日市市マップへのプロジェクションマッピングを同期させ、南海トラフ地震の震度予測分布や浸水想定図といったハザード情報や津波、液状化、高潮、内水、土砂災害、河川氾濫などの過去の被害状況や災害リスクをわかりやすく説明

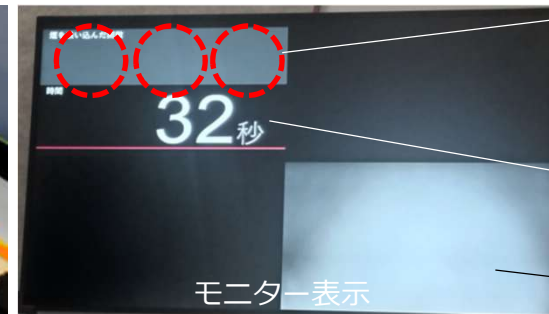
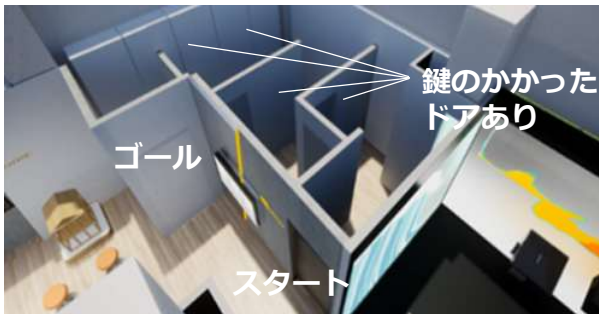
②災害連鎖シアター

- ・巨大地震をきっかけに次々と連鎖する災害の恐ろしさをシアターで紹介
- ・地震発生→通電火災→津波→避難の様子 までを一連のCGアニメ（5分程度）で紹介
- ・臨場感のある演出で災害の恐ろしさを体験



③煙体験

- ・臨場感のある演出で火災の恐ろしさと煙が充満する部屋からの避難を体験
- ・有毒ガス（一酸化炭素）を吸わないためにハンカチで口を押え、低い姿勢で避難
- ・センサにより姿勢高さを検知し、姿勢が高いとアラームを出す。



一酸化炭素を吸った
回数をアラーム表示
アラーム3回で
ゲームオーバー

スタートからの経過
時間

内部の様子

モニター表示

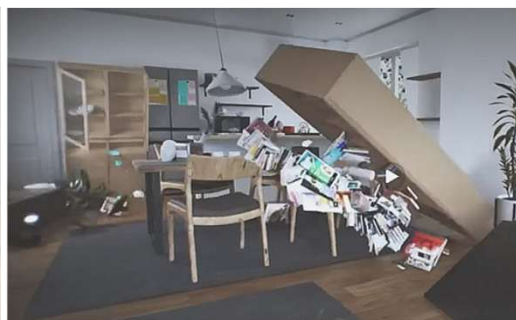
- スタートからゴールまで、距離にすれば約8～9m（推定）程度であるが、低い姿勢で移動するのは少々きつかった

④四日市災害の歴史

- 今回は視聴なし：三重県の過去の災害については参考資料に記載

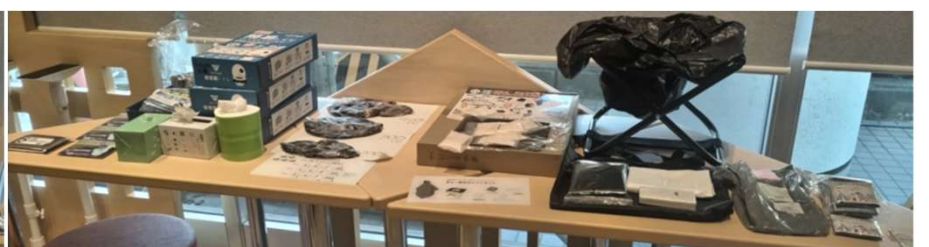
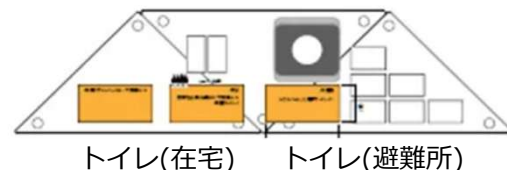
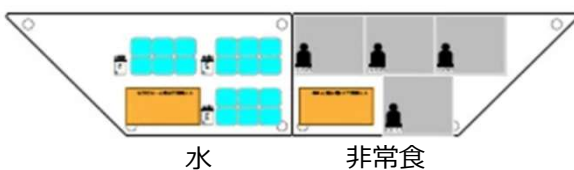
⑤地震VR・防災シアター

- ・ヘッドマウントディスプレイ（VR）を使用した地震体験
- ・来場者はVRゴーグルを着け、回転いすに座って360°の映像で地震のゆれやその被害を体験
- ・映像は、阪神淡路大震災（マグニチュード7.3）での教室の様子、熊本地震（最大震度7）での一軒家の様子、南海トラフ地震（想定）での高層ビル内オフィスの様子をそれぞれ表現
- ・VRゴーグルは15台程度用意され、一度に15名が体験可能

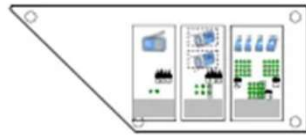


⑥防災備蓄品

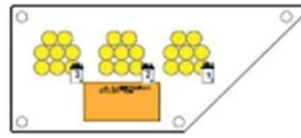
- ・災害時に必要な防災備品の展示



⑥防災備蓄品（続き）



防災バッグ・携行品



カセットボンベ・乾電池



⑦防災学習スペース

- ・防災に関する書籍、パンフレット、ゲーム等を展示



⑧災害後の世界

- ・災害が起こった後、どのような状況になるかを想像するコーナー
- ・被災時の困難さ、対応法を示す



○地震体験車

- ・東海地区で初めて導入された、VR機能付きの地震体験車

【体験コンテンツ】

- ・震度2～7まで体験可能
- ・過去の地震の波形は8～10種類再現可能
- ・想定地震の波形も再現可能
- ・VRコンテンツによりリアルな地震体験が可能



- 震度6強と震度7（南海トラフ地震を想定）を体験
- 震度7の場合ダンゴムシのポーズでは身体が飛ばさそうになるので、手摺につかまった方がいいと思った

3. 見学後所感

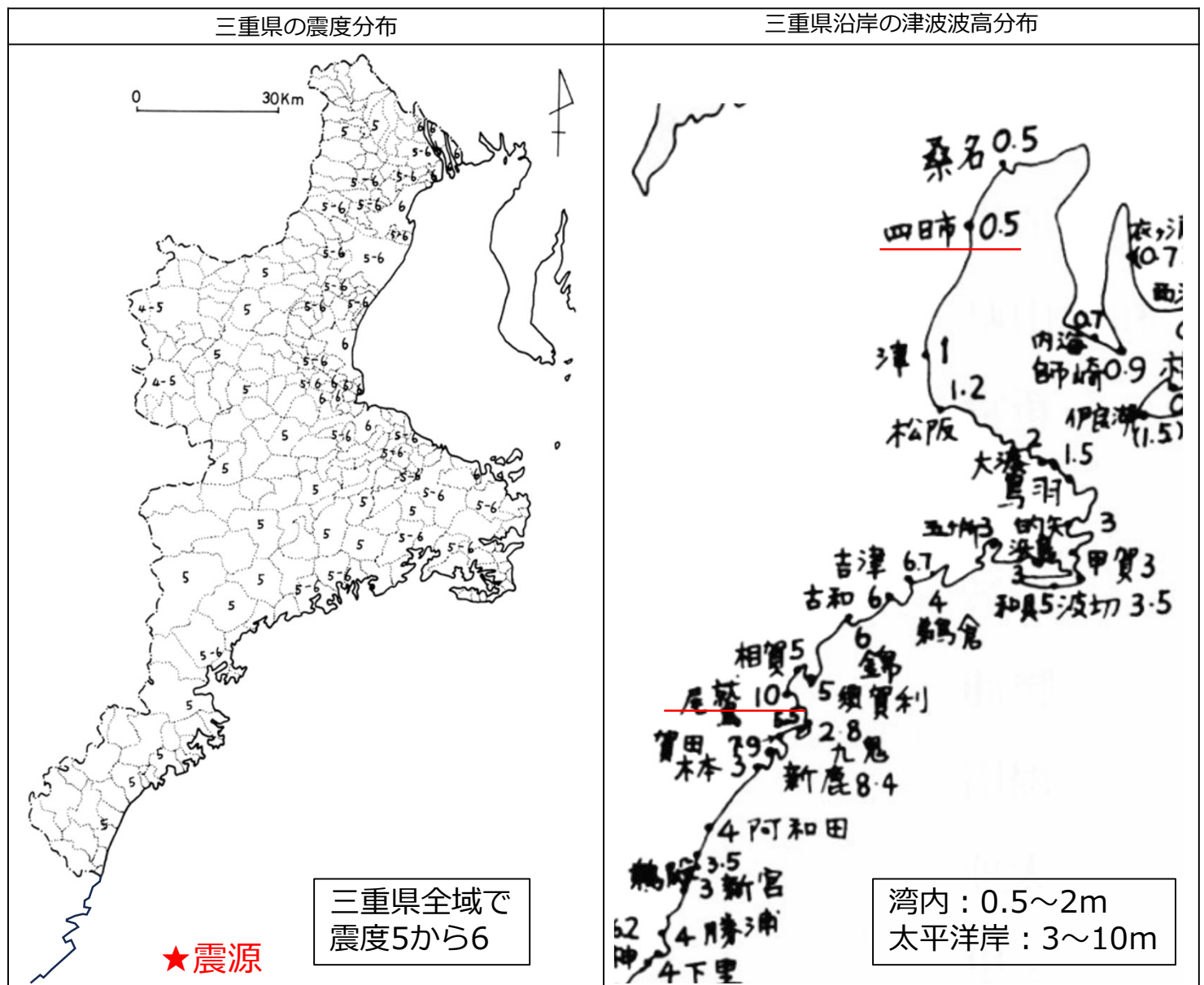
- ・参考資料（4/7～6/7）に示すように、三重県は地震、津波、台風、線状降水帯、洪水、土砂災害といった様々な災害にみまわれる可能性が高いため、防災に関しては官民学が連携し、力を入れて取り組んでいるように感じた
- ・幅約17m、奥行き約13m（推定）とさほど大きくはないスペースであるが、コンテンツとしてはプロジェクションマッピングやVRなど最新の技術を導入し、迫力や臨場感のある展示であった
- ・一般市民はもちろんであるが、子どもたちの防災意識向上に力を入れているように感じた

<参考資料>

三重県における過去の災害（みえ150年の歩み：<https://150th.pref.mie.lg.jp/history/disaster/>）

1944年 (昭和19年)	昭和東南海地震	12月7日13時35分に熊野灘を震源とするマグニチュード7.9の地震が発生し、大きな被害が発生しました。三重県では、地震発生後の5～15分後に8～10メートルの津波が襲った県南部を中心に、約400人の尊い命が奪われました。この地震は戦時中の報道管制の下、被害に関する報道が厳しく制限されたことから、「隠された地震」とも呼ばれています。
1953年 (昭和28年)	台風第13号	台風の上陸が満潮時刻に重なり高潮が発生するなど、死者・行方不明者のほか多数の家屋被害が生じました。
1959年 (昭和34年)	伊勢湾台風	高潮や堤防決壊によって甚大な被害が発生し、県内全域が災害救助法の適用を受けました。被害総額は、当時の金額で約1,800億円（現在の価値に換算すると8兆7,000億円規模）の甚大な被害を受け、県内全域が災害救助法の適用を受ける事態となりました。長島町（現在の桑名市）では住民、行政、自衛隊が協力し、高潮被害を防ぐための潮止め工事を実施しました。
1994年 (平成6年)	台風第26号	台風の影響で津市の海岸に大型貨物船が2隻座礁。周辺地域に大きな混乱をもたらしました。
2004年 (平成16年)	台風第21号と前線による大雨	台風第21号と前線の影響により、9月28日から29日にかけて記録的な大雨となり、県内各地で大きな被害が発生しました。大台町（旧宮川村）では、土石流や土砂崩れによって6名の尊い命が奪われたほか、道路が決壊したことで孤立集落が生じ、約300名が、1週間ほどライフラインがほとんど機能しない状況下での生活を余儀なくされました。
2011年 (平成23年)	紀伊半島大水害	記録的な降水量となった県南部（紀勢・東紀州）の市町を中心に、三重県内全域で土砂災害や浸水被害が発生。熊野市、御浜町、紀宝町が災害救助法の適用を受けました。県内外から8,000人近くのボランティアが駆けつけ、ゴミや泥の撤去といった清掃活動などに従事しました。

昭和東南海地震による被害（1944東南海地震・1945三河地震 第1章 内閣府防災情報）

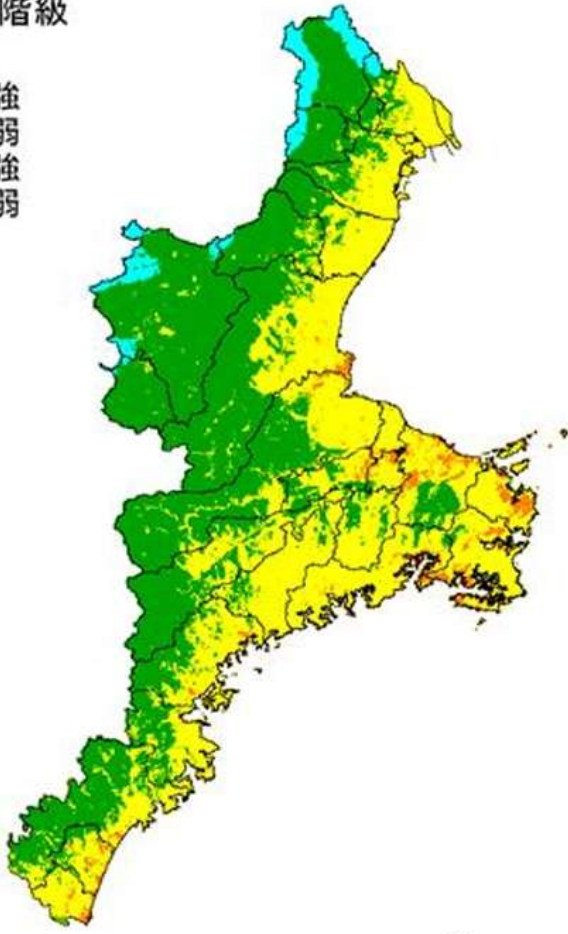


南海トラフ地震による被害予想（三重県南海トラフ地震被害想定 令和8年3月30日）

【最大震度予想】

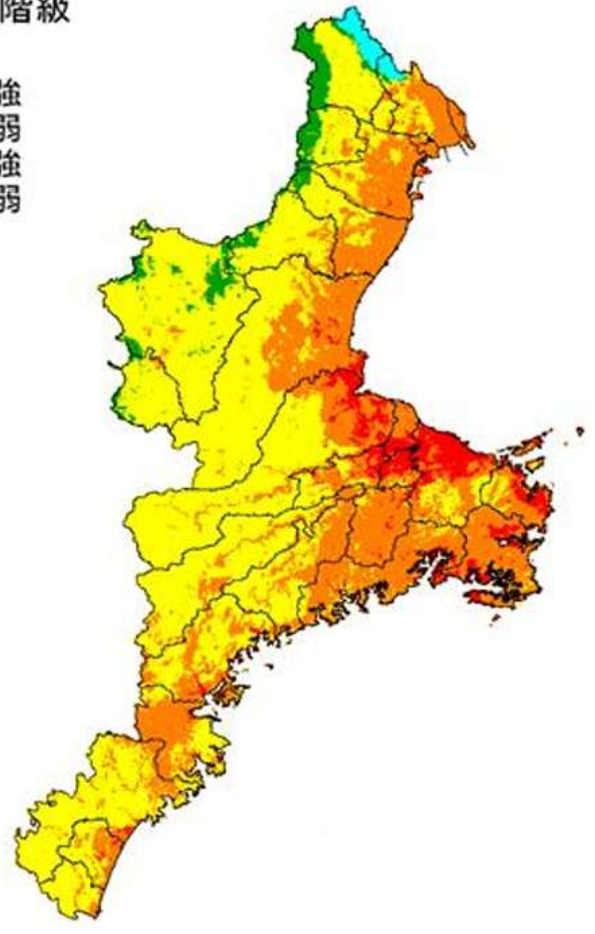
【L1】 過去最大クラス

震度階級



【L2】 理論上最大クラス

震度階級



【津波被害予想】

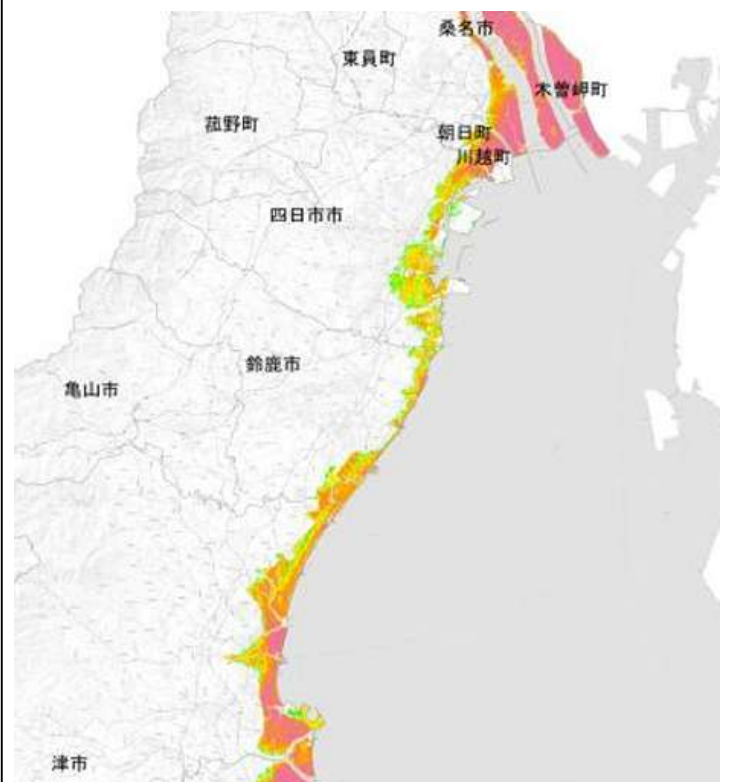
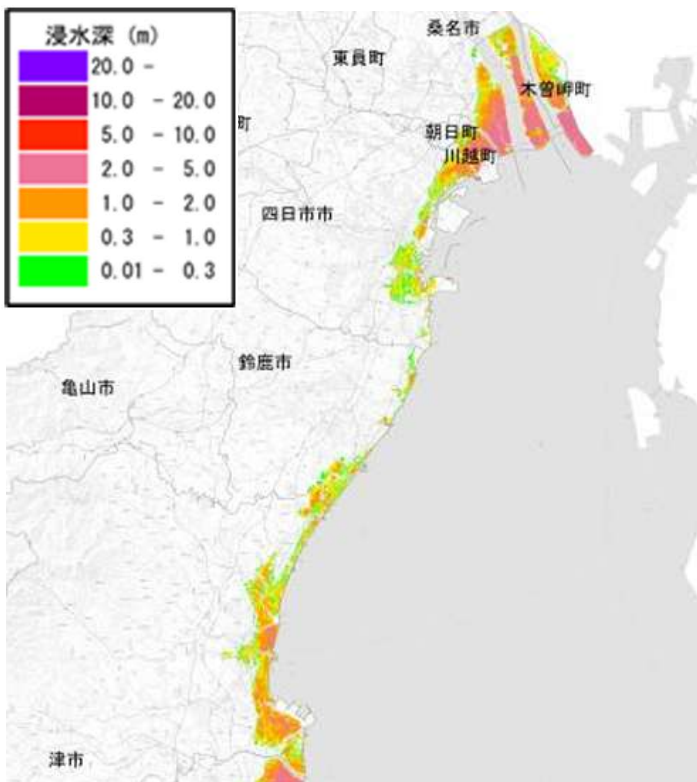
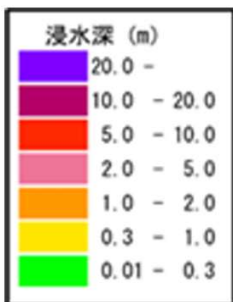
四日市市沿岸最大津波高：3m

四日市市沿岸最大津波高：4m

津波浸水深予測（三重県北部～中部）

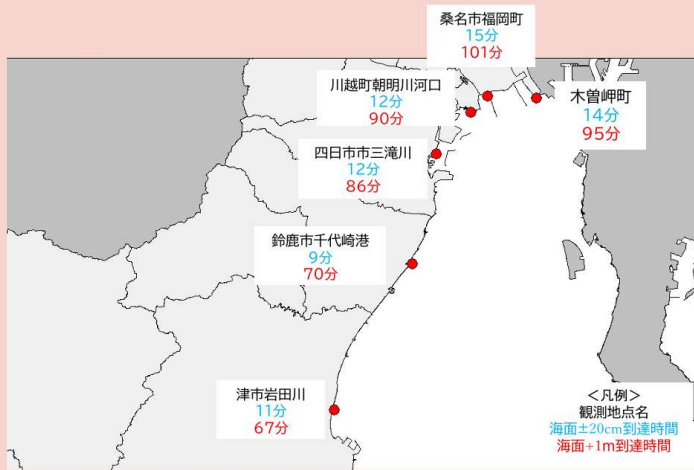
【L1】 過去最大クラス

【L2】 理論上最大クラス

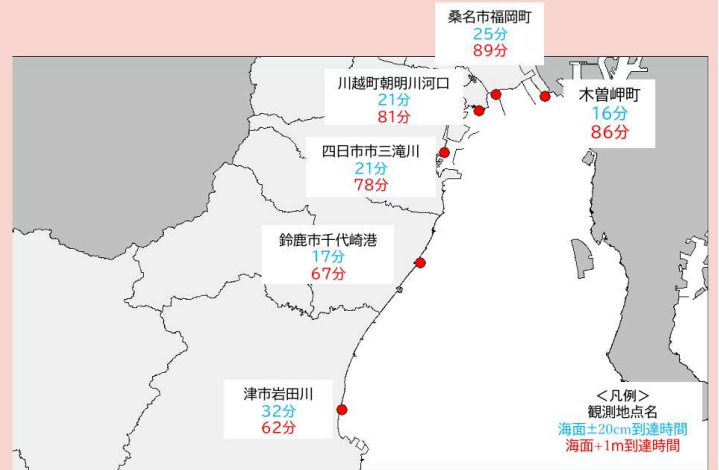


【海域の津波影響開始時間】

【L1】 過去最大クラス

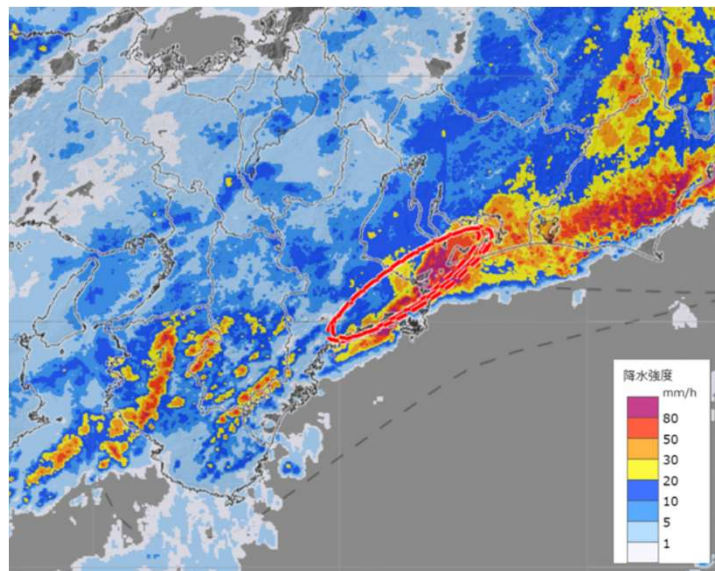


【L2】 理論上最大クラス



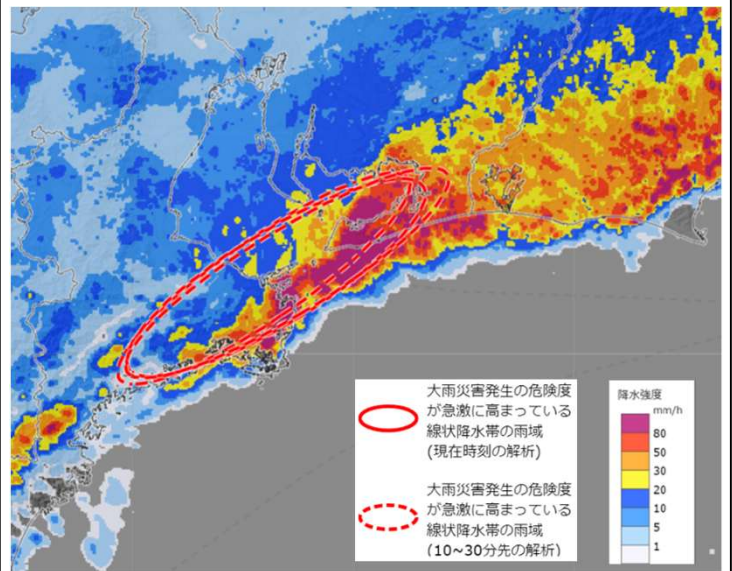
三重県における過去の線状降水帯発生（線状降水帯：<https://www.bousai-top.com/>）

2023年6月2日15時40分



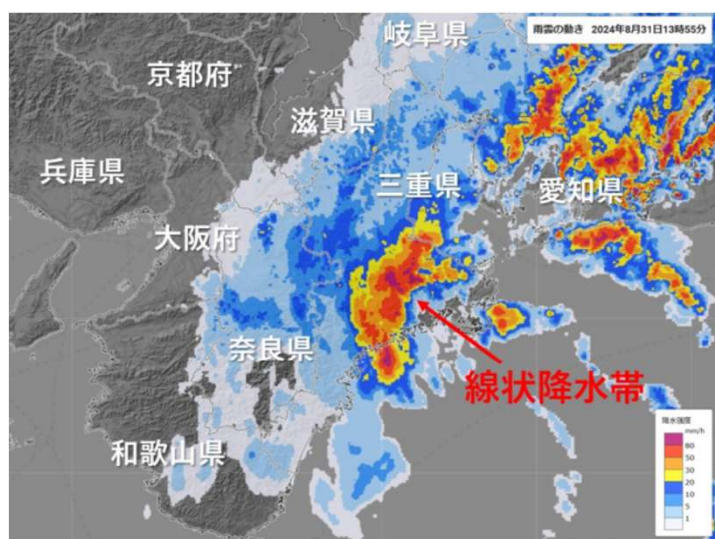
線状降水帯の発生情報「顕著な大雨に関する気象情報」が三重県南部に発表されました。西日本から東日本に停滞する梅雨前線に向かって、台風周辺からの暖かく湿った空気が流れ込み、梅雨前線の活動が活発となっている状況で線状降水帯が発生しました。

<参考> 豊川市 2023年6月2日15時55分



線状降水帯の発生情報「顕著な大雨に関する気象情報」が愛知県東部に発表されました。西日本から東日本に停滞する梅雨前線に向かって、台風周辺からの暖かく湿った空気が流れ込み、梅雨前線の活動が活発となっている状況で線状降水帯が発生しました。2日、愛知県豊橋市と豊川市に警戒レベル5（緊急安全確保）が発令されました。

2024年8月31日13時55分



8月31日13時57分に線状降水帯の発生情報「顕著な大雨に関する気象情報」が三重県中部に発表されました。三重県では、台風第10号の接近で、大気の状態が非常に不安定となっている状況で線状降水帯が発生しました。

＜参考＞ 三重県内災害啓発・学習施設

【伊賀上野市】 上野集中管理センター資料室（国土交通省 木津川上流河川事務所）



【四日市市】 四日市市消防本部防災教育センター

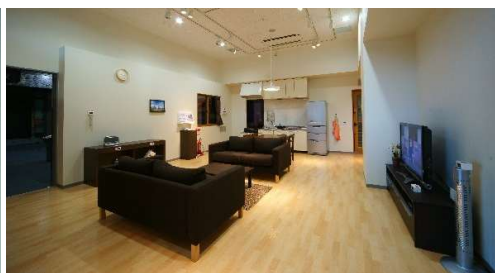
【伊勢市】 伊勢市防災センター



【鈴鹿市】 鈴鹿市河川防災センター



【名張市】 名張市防災センター「防災体験学習コーナー」



三重大学みえ防災・減災センター (<https://www.midimic.jp/>)

実施体制

